
星空のロマンス

桜桃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星空のロマンス

【Nコード】

N3744N

【作者名】

桜桃

【あらすじ】

星を見に行つた
2人のお話です。

(前書き)

興味半分、
面白半分で見てください。

「なあ。星、見に行くか？」

「え？」

「いや、今日は快晴だし、山のほうに行けば、星が綺麗に見えると思ってよ。」

「でも、移動手段は？」

「これ見ろよ。」

出したのは、

免許証。

「新一！」

「まあ、ハワイで親父に習ってたし、そんな難しくはなかったぜ。」

「へえ〜」

「行くか？」

「あつたりまえでしょ！星。好きだもん！」

||
||
||
||
||
||
||

「わああ。綺麗！」

「ほんと、きれいだな。」

「うん！」

新一がいったきれいとは、

星のことではない。

まぎれもなく、蘭のことなのだ。

「でも、東京でここまで見れるなんて、
珍しいと思わない？」

「そうだな。」

「ほんと、きれい・・・」

両手をいっぱい広げて、

星空を楽しんでいる。

「新一に、感謝しなきゃね！」

「そりゃどうも。」

「もっと、うれしそうにきなさいよ！
人がせっかく、よろこんでるのよ？」

「たく。」

つと蘭に微笑がこぼれる。

「やっと、元の蘭に戻ったな。」

「え？」

「なんか、元気なかっただろ？」

「あ・・・」

うん。ちょっとあってね。」

「下級生の女になんか言われたのか？」

「!?!?!?!?!」

「園子に聞いた。」

もう!おしゃべり!!

という意味が込められた顔をする。

「私、新一に好きになってもらえる資格、あるのかな？
そんな価値がある女だとは思えなくなって・・・」

「はあ。」

「？」

「あのなー、お前ほどいい女がどこにいるんだよ。少なくとも、俺の中で一番だ。もっと、信用してくれよな。」

「……やだ。」

「ごめん。信用してなかったわけじゃない！
けど……」

けどの続きを言おうとした蘭の口をふさぐ。

数秒後、息を苦しそうにした蘭をやっと開放した。

「わかってる。」

「蘭、これだけは忘れるな。」

「どんなことがあると、俺はお前を離れる気はない。」

「……新一い……」

「泣くなって！」

3分後、

やっと笑顔を戻した蘭に

また、口をふさいだ新一であった

(後書き)

興味半分、面白半分で見てください、
ありがとうございます^^

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3744n/>

星空のロマンス

2010年10月9日10時16分発行